

6 粉末消火器による消火訓練

1 ねらい

粉末消火器を使用し、実際の火で初期消火を実施することにより、緊迫した消火の体験を通じて、消火器の使用方法を会得します。

2 必要スタッフ

危険を伴いますので、消防署に事前に相談し、消防職員の立会いを求めましょう。

3 必要なもの（参加人員30人程度の目安）

（品目）	（数量）
粉末消火器	5～6本
オイルパン	1つ
灯油	2リットル
ガソリン	1リットル
着火用ライター	1個
点火棒	1本
消火器のカットモデル	1個（あれば）

4 内容紹介

公園等の中央にオイルパンを設置し、風上5～6メートル手前から消火器を放射し、ほうきで掃くよう消火します。炎が小さくなれば徐々に接近し完全に消火してください。

5 訓練の進め方 消防職員の指導を受けながら行ってください！

(1) 事前準備

- ・消火器は、必要な本数を準備します。
- ・訓練時に粉末が周囲へ飛散するので、付近への事前広報を行ってください。

キケン

粉末消火器の外観点検を必ず行いましょう。本体に錆のあるものは、握ったときに内部の圧力で破裂し、重大事故が起こる可能性があります。錆のあるものは使用しないようにしましょう。



本体が錆びた消火器

- ・オイルパンの底に2～3センチ水を張ります。（焦げ付き防止のため）
- ・灯油を入れます。オイルパンの大きさにもよりますが、約100cc程度が目安です。
- ・着火用に、少しだけガソリンを入れます。（着火直前に入れてください）

灯油と少量のガソリン



水



(2) 事前説明

「消火器のカットモデル」又は、「訓練用消火器」で構造や取扱い説明及び訓練を体験した後、粉末消火器の訓練を行います。

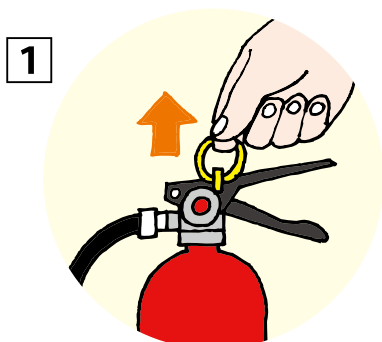
(3) 訓練開始

- ・順番に消火訓練を実施します。
- ・数回実施すると、消火剤がオイルパンに溜まって着火しにくくなります。
消火剤を網ですくうなどし、少量のガソリンを入れ、着火しやすいようにしてください。

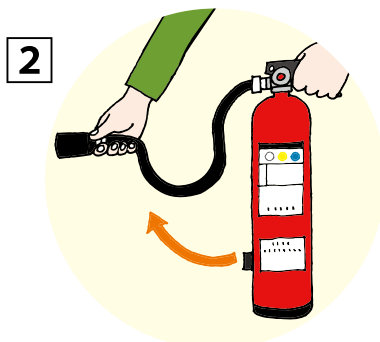
(4) その他

訓練に使用した廃油は適正な処理を実施しましょう。

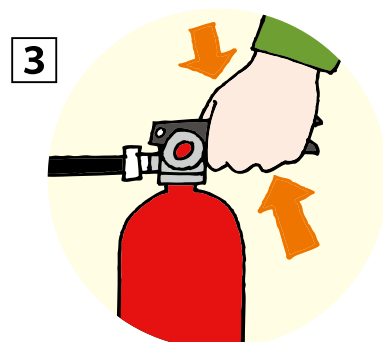
【消火器の使用方法】



1
火元まで運んでから安全栓
に指をかけ、上に引き抜く



2
ホースをはずして火元に向ける



3
レバーを強く握って噴射する
(ほうきで掃くように消火する)



ちょっと
アドバイス

消火器、住宅用火災警報器、感震ブレーカーの設置

- ☆消火の目安は、炎が天井に燃え移るくらいまでです。無理な初期消火は実施せずに、消火が難しい様ならばすぐに避難し、119番通報しましょう。
- ☆天ぷら火災の消火には、強化液タイプの消火器が有効です。
- ☆家庭の消火器は、玄関に設置するのがよいでしょう。（錆び発生防止のため）
- ☆各家庭の台所・寝室には住宅用火災警報器を設置しましょう。
- ☆地震による火災の原因は電気が過半数を占めています。地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどへの電気を自動的に止める感震ブレーカーを設置しましょう。